

令和7年度 第3回 学校運営協議会 会議録

1 日 時 令和8年3月16日(月)15:00~16:10

2 場 所 城南高等学校 大会議室

3 参加者数 12名(オンライン参加含む)

4 会 次 第

(1)委員長挨拶

(2)校長挨拶

(3)報告



① SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の取組について

SSH 推進課の下西教諭より、本校の核となる探究活動について説明した。「Science Specialist の育成」を掲げる応用数理科、および「Generalist の育成」を掲げる普通科、それぞれの授業内容と成果・課題を報告。あわせて、SSH 指定校としての「地域における理数系人材の拠点校」および「国際的に活躍できる理数系人材育成」に関する具体的な取組状況を共有した。

② 令和7年度学校評価に基づく重点取組について

教頭より、令和7年度学校評価に基づき、以下の重点項目について説明した。

- ・学力向上・進路指導の充実
- ・日々の生活指導の徹底
- ・特別活動・人権教育の推進
- ・課題研究(SSH)、探究活動、および広報活動の充実
- ・安心・安全な教育環境の整備
- ・開かれた学校づくりの推進
- ・創立150周年記念事業の円滑な実施
- ・学校評価アンケートの経年比較から見える現状と課題



(4)協議・意見交換

・地域連携における「目線合わせ」の仕組み化

外部講師によるワークショップ等の実施に際し、学校側が求める成果と講師側の意図を事前に擦り合わせる「目線合わせ」のプロセスを組織的に仕組み化すべきである。

・自転車の安全対策

スポーツタイプ自転車の普及に伴う事故の重症化リスクが懸念される。

ヘルメット着用を敬遠する生徒の心理(髪型の乱れ等)に対し、松柏会(PTA)が主導となり、家庭でのヘルメット着用促進や安全意識の啓発を開発し、学校と家庭が車の両輪となって生徒の命を守る体制の構築を期待する。

・生活習慣と依存症リスクへの対応

「生活習慣改善」の達成率が低い現状(24%)に対し、スマホ・ゲーム依存が卒業後の生活に及ぼすリスクを鑑みた「人生の危機管理」としての指導を期待する。一方で、全生徒に一律で計画提出・実施を義務付ける手法については、その教育的意義を問い直すべきとの指摘があった。「形だけの提出」に陥っていないか、「絶対に変えなければならないもの」とは何か、という視点の共有と、それに基づいたサポートを期待する。

・広報戦略の多角化

公式 HP の閲覧数のみならず、各部活動が運用する SNS 等の波及効果も合算し、広報成果を多角的に可視化・分析してはどうか。

・探究活動の高度化と教職員研修

意欲的な生徒の学びを支援し、進路の選択肢を広げるための教員による伴走支援が求められる。指導力向上のための教職員研修の実施にも期待したい。

・国際理解と表現力の向上

台湾研修で生徒が実感した「台湾の学生の英語プレゼンテーション能力の高さ」を本校生徒の一つのベンチマーク(指標)とし、設立した「城南生ジャンプアップ基金」を活用したさらなる高みへの挑戦を期待したい。国際交流を通じ、自らの考えを発信する力の育成に一層注力することを切望する。

・高校生ならではの視点を活かした防災教育の推進

全国的に評価の高い「津田中学校」等の先進モデルを参考に、高校生ならではの視点を活かした防災への学びや取組への支援を期待したい。

委員よりいただいた助言や提案を次年度の教育計画に反映させ、「ジョウナンらしく、あたらしく。」、伝統の継承と恐れなき変化の両立に邁進していくことを確認し、閉会した。

(文責 大西)